

別記様式第3号（第6条関係）

会 議 記 録

次のとおり附属機関等の会議を開催したので報告します。

附属機関等名称	近江八幡市廃棄物減量等推進審議会		
開催日時	令和6年9月30日(月) 15:00-17:00		
開催場所	近江八幡市役所 4階 第3・4委員会室		
出席者 ※会長◎ 副会長○	出席者（敬称略） 審議会委員 ◎奥田 哲士 ○水原 詞治 ・太田 文雄 ・吉田 栄治 ・中江 しげ子 ・大村 啓子 ・井上 芳夫 事務局 生活環境課 課長 中嶋 武志 課長補佐 村岡 亘 主任主事 小崎 竣矢 主事 北脇 翔也		
次回開催予定			
問い合わせ先	所属名：市民部 生活環境課 担当者名：小崎 電話番号：0748-36-5509 メールアドレス： 010602@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	発言記録 ・ 要約	要約した理由	長時間の会議につき、内容を整理したため
内容	◎令和7年度ごみ袋のメッセージ募集 市内の全小中学校の4年生を対象に募集をかけ、可燃大が252件、可燃小が93件、不燃が64件集まった。そのうち事務局で可燃大を35件、可燃小を20件、不燃を14件まで選考した。 審議会にて募集要項や選考のポイントを基に選考を行い、		

	各々 2 点まで絞り指定ごみ袋に掲載する絵を決定した。 掲載に選ばれた 6 名には市長室で表彰し、図書カード・指定ごみ袋のサンプル・エコ風呂敷等を渡す。ごみ袋のサンプルができ次第市役所 1 階のロビーに絵を展示する。 掲載に至らなかった生徒にも予算が通れば記念品や賞状等を渡したい。 ○委員からの主な意見 ・投票数が重なった場合はどうするのか。 →同点同士で決戦投票を行う。 ・多くの子供たちが賞などをもらえるように予算措置を取って欲しい。 →財政当局に必要な経費である旨説明する。 ・子供の絵は原寸大で載るのか、色は 1 色か。濃淡は出るのか。 →原寸大で、紫 1 色、濃淡も出る。 ・ごみ袋の単価をもう少し上げて絵でも単価でもごみの減量を訴えてはどうか。 →原価を割るまでは値上げは行わない方向。 ・4 R と 5 R のものがあるが近江八幡市的にはどちらがよろしいか。 →ごみ処理基本計画に書いてある限りは 5 R だが、5 R の 5 つ目のリジェネレートはマイナーなものなのでどちらでもよい。 ・不燃 1 4 作品のうち 5 作品選ぶのは多いのではないか。 →今後の参考とする。 ・ゴミというようにカタカナで書くのは業界では人間に対する差別用語なので、作者にひらがなにしてもらってはどうか。 →事務局としても調べたのちに回答。
--	---

	・可燃大、可燃小、不燃で応募件数が違うので、賞等を出す比率はある程度配慮する必要がある。 ・広報部門の知り合いや中学校の美術の先生に選考してもらうことで、公平性や適性を上げるようスクリーニングを見直してはどうか。 →今後の参考とする。 ◎ごみの量の速報 令和５年度９～３月までと令和６年度４月～８月末速値を反映し作成。 ○委員からの主な意見 ・草木が一時に多く来るということだが、７月～９月の３ヶ月の平均で見てそれほど増えていないのであれば問題ないと思う。 ・目標値の算出基準はどうなっているのか。 →ごみ処理基本計画で令和３年から１３年までの目標を立て、そこから逆算した数値になる。 ・１人当たりの数値は、他府県や日本全体で見た時の平均値と比べて近江八幡市はどのような位置づけになっているのか。 →全国平均でみると低いですが、滋賀県内でみると高めになる。 ・エネルギーセンターは、今後ごみが増えても対応できるような処理能力を持っているのか。 →小さな災害程度であれば自前の施設で十分対応できる余力を蓄えていると考える。 ・ごみ処理にかかる経費を報告してください。 →令和６年度決算特別委員会で決算額の確定の認定を受ければ費用は出せる。収集運搬にかかる経費はごみ量や収集回数は減っているが、燃料費や人件費が年々上がっている
--	---

	ことで委託料が上がっている。 ・委託料をある程度抑えていくためにも今の目標値をもう少し削減していくようにチャレンジしてはどうか。 →法律に概ね5年で内容を見直す記載があり、来年度が概ね5年の年に当たる。目標設定自体をより厳しくする意見が多ければ、計画上の目標設定については上方修正するということもあり得る。
--	---